

京都記念

<AI注目馬>

1, 10, 12

400m で割れない非根幹距離。
直線も短いコースレイアウトで行われる舞台。
馬力を強化する血統馬が有利。

本命はマテンロウレオ。

母父が馬力を強化するブライアンズタイム。
今の競馬。特に東京 G1 で必要な直線スピードとは
相反する馬力を強化してしまう血統のため、
母父ブライアンズタイムで東京芝 G1 を勝った馬はいません。

その代わりに、直線が短いコースやダートでの馬力比べは G1 級。

この話は、タフな馬場の京都で行われた京都新聞杯で
ジェンティルドンナを負かして単勝 34 倍で優勝した
デスペラードを本命にした当時から書いていたこと。
同馬も母系にブライアンズタイム。

さらに母母父はダンチヒ。
ロベルト系とダンチヒの配合馬にグラスワンダー。
非根幹距離の馬力を強化する配合。

自身も宝塚記念を優勝。
有馬記念も連覇した非根幹距離のスーパーホース。

その血は孫にまで影響力を与え続け、
グラスワンダーの孫ジェラルディーナも
昨年同舞台の宝塚記念を優勝しました。

今回は待望の非根幹距離初出走。
根幹距離クラシック優勝馬の 1、2 人気を負かしての優勝に期待します。

対抗はウインマイティー。

父がゴールドシップ。その父はステイゴールド。
ゴールドシップは今回と同舞台で行われる宝塚記念を連覇した馬。

母父はカコイーシーズ。
同じ母父でステイゴールド産駒のナカヤマナイトは
勝利した重賞レース 3 勝がすべて非根幹距離。

あとは実績抜けている 10、12 がどこまでパフォーマンスを下げて、
非根幹距離適性高いユニコーンライオン、インプレスが食い込めるか？
が焦点と見立てています。

共同通信杯

<AI注目馬>

3, 5, 8, 10, 11, 12

本命はタスティエーラ。

父、母父ともに非根幹距離の鬼。
欧州指向強い血統馬が走りやすいレースで適性もピッタリ。
堀調教師は当レースのマイスター。
ノーザン生産馬の中からサトノクラウン産駒を
最優先で選ぶ権利もあるんですが、選んだのがこの仔。

相手妙味はディープと欧州指向の血統を持つ
10 シュタールヴィント、12 ロードプレイヤー。

どちらも前走は京都 2 歳ステークス。
直線スピードを削がれる馬場で能力出せず。